

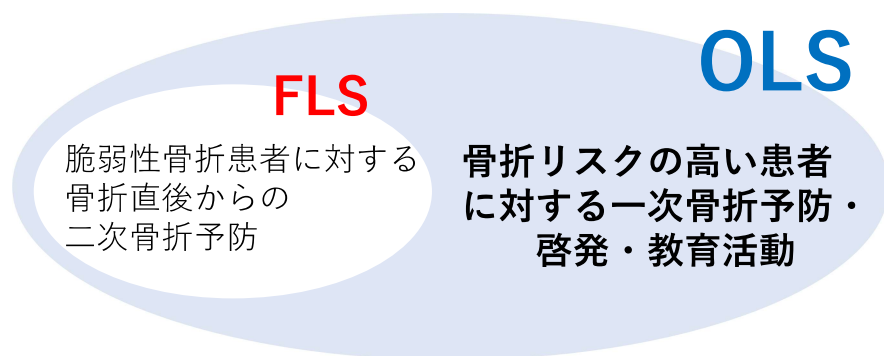
# 骨粗鬆症リエゾンサービスの実際

医療法人 誠心会 吉田病院

看護師・骨粗鬆症マネージャー  
鈴木悦子 1

骨折リエゾンサービス(**FLS** : Fracture Liaison Service )と

骨粗鬆症リエゾンサービス(**OLS** : Osteoporosis Liaison Service)



## リエゾンサービスとは

リエゾンはフランス語で**繋ぎ、連絡係**を意味する

医師及びメディカルスタッフが連携し、  
骨粗鬆症の予防と改善、骨折防止の取り組みのこと

日本骨粗鬆症学会では、コーディネーターを育成するレクチャー・  
コースを開催し骨粗鬆症マネージャーの資格認定を行っている

骨折リエゾンサービス(FLS)クリニカルスタンダード  
日本版2019

### FLSのスキーム



継続的な二次性骨折予防に係る  
評価の新設

# 吉田病院

## 骨粗鬆症リエゾンサービス OLS



5

### ステージ1 《 対象患者の特定 》

FLSによって治療されるべき脆弱性骨折の患者であることを特定しFLSチームメンバーに周知する

#### 入院

データベースに加え

- ・骨粗鬆症治療開始と継続書類  
治療方針と退院後の方向性
- ・二次性骨折予防継続管理料1算定の有無

#### 外来

- ・骨粗鬆症治療中シグナルつけ
- ・定期的検査の実施と継続治療



6

### ステージ2 《 二次骨折リスクの評価 》

FLSによる骨粗鬆症治療対象者の二次骨折リスクを確実に評価する

- ・胸腰椎単純X線、二重エネルギーX線吸収測定法(DEXA)
- ・一般血液生化学、Ca、P、P1NP、TRCP-5b  
25-OHVD(25水酸化ビタミンD)
- ・転倒リスク評価
- ・認知機能評価
- ・薬剤の鑑別



ロコモ度テストの様子



7

### ステージ3 《 投薬を含む治療の開始 》

FLSによる  
骨粗鬆症治療対象患者には投薬を含む治療介入を行う

「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」を中心に骨折予防に対してエビデンスをもつ薬物治療と転倒予防を基本介入として行う

- ・薬物治療に伴う指導(薬剤師、看護師)
- ・栄養指導(管理栄養士)
- ・運動指導
- ・転倒予防指導 (理学療法士、作業療法士)



栄養指導の様子



8

## ステージ 4

## 《 患者のフォローアップ 》

## 患者の治療継続と、治療効果測定のためのフォローアップ

- ・カルテにシグナルを付ける  
⇒骨粗鬆症の治療中であることを視覚的に伝える
- ・受診が滞っている患者には電話連絡する  
⇒各薬剤ごとの治療予定カレンダーの作成
- ・病棟と外来で患者の情報を共有  
⇒「骨粗鬆症治療開始と継続書類」

～手術前後の準備法と看護要領～

氏名	部		生年月日	
性別	男	女	姓	名
入院病棟	( )			

① 入室検査  
□ 心電 〇 血圧測定 □ 血圧測定が正常ならば □ 血圧測定が正常ならば入浴  
血圧測定が正常に経過した場合のみ入浴 □ 心電 □ 血電

② 手術前後の準備法と看護要領を指導

薬物投与  
● 麻酔薬 ( ) □ 鎮痛薬 ( )  
● EDA 麻酔薬—E ( ) 鎮痛薬 ( ) □ 鎮痛薬—E ( )  
● 手術前準備薬—E ( ) 鎮痛薬 ( ) □ 鎮痛薬—E ( )  
● EDA 麻酔薬—E ( ) 鎮痛薬 ( ) □ 鎮痛薬—E ( )

③ 説明 ( ) 説明 ( ) 説明 ( )  
● 麻酔薬 ( ) □ 鎮痛薬 ( )  
● 麻酔薬 ( ) □ 鎮痛薬 ( )

～退院後の指導～

④ 退院指導 ( ) □ 退院指導 ( ) □ 退院指導 ( )  
● 退院指導 ( ) □ 退院指導 ( ) □ 退院指導 ( )  
● 退院指導 ( ) □ 退院指導 ( ) □ 退院指導 ( )  
● 退院指導 ( ) □ 退院指導 ( ) □ 退院指導 ( )

吉田病院  
YOSHIDA HOSPITAL

## ステージ 5

## 《 患者と医療従事者への教育と情報提供 》

## 脆弱性骨折と治療の重要性に対する知識を深める

医療から介護まで、脆弱性骨折に関わるすべての職種および患者・家族に対して骨粗鬆症に対する知識の共有とFLSの意義について啓発する

- ・再骨折予防手帳の活用
- ・骨粗鬆症説明マニュアルを活用し、説明の標準化を図る
- ・骨粗鬆症治療薬の一覧の作成

## 骨折リエゾンサービス(FLS)クリニカルスタンダード

日本版2019

## FLSのスキーム



## ステージ5

## 《 患者と医療従事者への教育と情報提供 》

脆弱性骨折と治療の重要性に対する知識を深める

医療から介護まで、脆弱性骨折に関わるすべての職種および患者・家族に対して骨粗鬆症に対する知識の共有とFLSの意義について啓発する

- ・再骨折予防手帳の活用
- ・骨粗鬆症説明マニュアルを活用し、説明の標準化を図る
- ・骨粗鬆症治療薬の一覧の作成

吉田病院

## 骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS) 委員会

Osteoporosis Liaison Service  
(連絡係)

構成メンバー：15人

医師、看護師  
理学療法士  
管理栄養士、薬剤師  
放射線技師  
社会福祉士  
医療クラーク



## 骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS) 委員会活動

①「骨粗鬆症予防教室」開催(3回/年)

OLS 委員会メンバーが講師となり講演



## 骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS) 委員会活動

②地域のコミュニティーセンターやお茶の間へ出前講座



## 骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS) 委員会活動

③2018年9月～開業医と骨粗鬆症循環型連携開始

近隣の開業医 21施設と連携

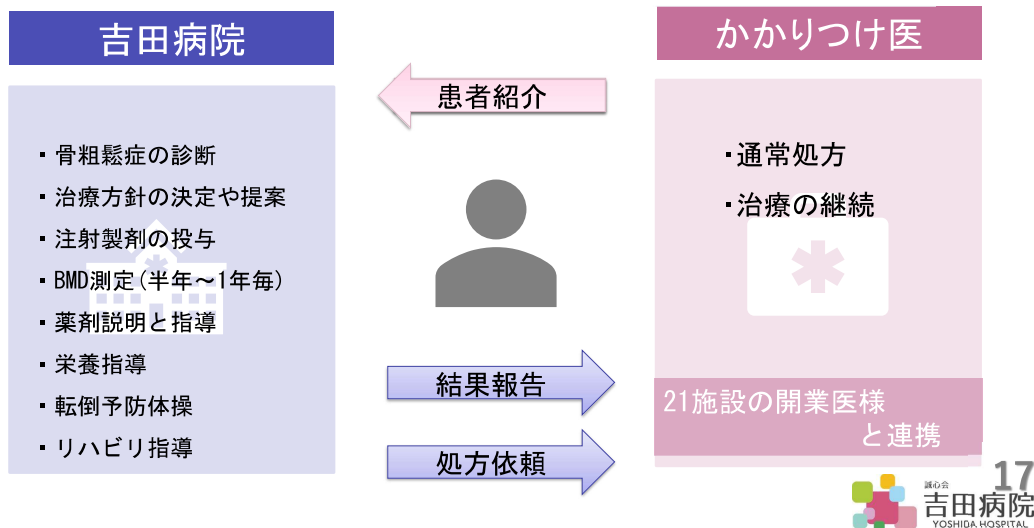
連携実績 2018年9月～2024年4月末 263件

かかりつけ医と連携し患者の利便性を重視

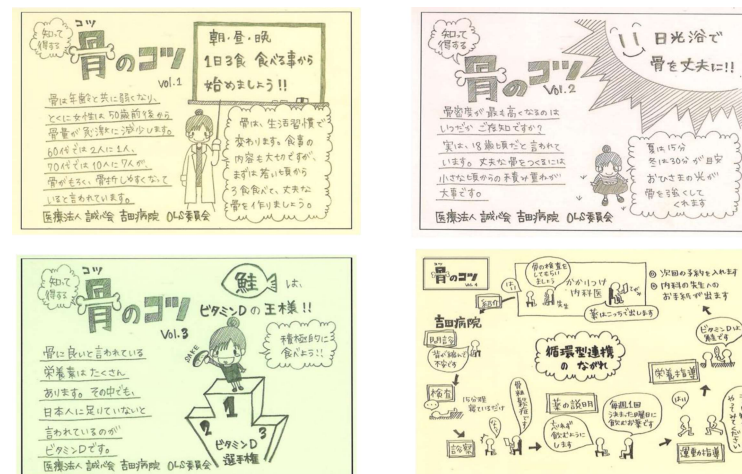
骨粗鬆症治療の治療率と治療継続率向上をめざす



## 骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS) 委員会活動



## 骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS) 委員会活動



18

## 骨粗鬆症サポーターの皆様へ

骨粗鬆症患者の治療継続のサポート  
 患者がどこへ行っても治療が途切れない  
 ようにサポートすること

患者の関係施設やケアマネジャーと  
 連携しながら情報共有

ご清聴ありがとうございました